

—地域とつながる滝川駐屯地—

災害派遣活動

自衛隊は、国内における地震・風水害・火山噴火・雪害などの自然災害や火災・海難・航空機事故などの際の救助、山などでの遭難者救助などの災害派遣に携わり、国民の生命や財産の保護に寄与しています。



滝川市における
主な災害派遣活動



石狩川と空知川にはさまれた滝川。まちの歩みは洪水との闘いでもあり、春の雪どけ、夏の長雨や台風により、川は幾度となく氾濫を起こしてきました。滝川駐屯地部隊は、このような水害をはじめ、滝川を襲う数々の災害のたびに、災害救助活動にあたり、人命とまちを守ってきた歴史があります。平成30年9月に発生した、胆振東部地震では、地震発生後に北海道のほぼ全域で停電が発生、ブラックアウトの状態が続く中、滝川駐屯地の支援が市民の生活を支えました。

ブラックアウト時の滝川駐屯地の支援

■平成30年9月7日

滝川市スポーツセンターにて炊事車により573食の夕食を提供したほか、市内3か所で自衛隊の非常食1,370食を提供。



■9月8日～9日

停電により市民が入浴できないことから駐屯地内の隊員浴場を一般開放、約100人の市民が利用。

市内での主な災害派遣活動

- 昭和31年 栄町広小路十字路街で火災発生による消火活動
- 昭和36年 集中豪雨により、石狩川・空知川氾濫。水防活動
- 昭和37年 台風9号に伴う豪雨。人命救助、給水、消毒、築堤等活動
- 昭和39年 黄金町大火による消火活動
- 昭和50年 台風6号による洪水と、豪雨による水防活動
- 昭和56年 台風12号による豪雨。水防活動
- 平成30年 胆振東部地震発生。炊き出し、入浴支援活動

市外での主な災害派遣活動

- 昭和47年 横浜航空そよかせ号墜落による捜索活動（月形町）
- 平成23年 東日本大震災生活支援活動
- 平成28年 熊本地震生活支援活動

地域と共に守る

防災訓練



4機関合同災害対策本部図上訓練
(R6.9.18/市役所)



石狩川水系空知川総合水防演習
(R5.6.3/中島町地先)

市では、自衛隊や関係機関と連携し防災訓練を行っています。石狩川、空知川の氾濫を想定し、流域市町や防災機関と連携し行う「水防演習」や、警察・消防、自衛隊と共に、大規模災害を想定した「災害対策本部図上訓練」を行うなど、日ごろから災害への備えに努めています。

特集

地域とつながる滝川駐屯地

—滝川駐屯地創立70周年—

滝川駐屯地は、今年創立70周年を迎えます。滝川移駐の歴史や、災害派遣・地域貢献など自衛隊の活動や地域とのつながりを紹介します。

**希望のあかり
陸上自衛隊の滝川移駐**
滝川化学工業の倒産後、新規企業の誘致が見込めず、跡地利用が難航する中、舞い込んだのが、自衛隊の誘致話でした。当時の神部滝川町長をはじめ



稼働当時の滝川工場

北海道人造石油株式会社と終戦
昭和20年、第二次世界大戦の終戦により、現在の陸上自衛隊滝川駐屯地付近にあった、「北海道人造石油株式会社滝川工場」はGHQの命令により人造石油の製造を中止、軍需工場としての意義を失いました。その後、滝川化学工業株式会社として平和産業へ転換しましたが、昭和27年6月に倒産を迎えました。

Self-Defense Forces history 滝川駐屯地の歩み

**移駐から70年
地域とつながる滝川駐屯地**
隊は平成31年に第10普通科連隊から第10即応機動連隊に改編されました。現在は、即応機動連隊、業務隊ほか諸隊あわせ約700人の自衛隊員が日々訓練や地域貢献などを行っています。また、有事の際には、災害救助活動などへ従事します。

2千人を超える隊員と家族が滝川に移転し、この年の国勢調査で初めて町の人口は3万人を突破し、この移駐が滝川の市政施行の原動力となったのです。



にぎわいを見せた移駐パレード

め、関係者の努力により、昭和30年7月、陸上自衛隊第10普通科連隊の主力が九州から滝川町へ移駐しました。



移駐当時を知る元隊員
田口 昭雄さん (92歳)

自衛隊に入隊したのは昭和27年、19歳の時です。熊本駐屯地に入隊後、昭和29年に部隊が北海道に移駐することになりました。

千歳、真駒内（札幌）を経て昭和30年に滝川へ来ましたが、町民の歓迎はそれはもう盛大なものでした。

当時は道路が砂利道だったので、移動の道中、ほこりにまみれて顔中真っ黒になり滝川に到着しました。そんな私たちを婦人部の方々が、洗面器に水をためて待っていてくれたんです。真っ黒になった顔を洗って、歓迎の出迎えの中を行進しました。

三浦華園のあたりから駐屯地まで、大人から子どもまで本当に大勢の方が出迎えてくれ、涙がでるくらいうれしかったのを覚えています。



青年部会長
ひろふみ
川口 裕史さん

自衛隊の活動を支援・協力することを目的として昭和35年に発足した滝川自衛隊協力会には現在、親会のほかに青年部と女性部があります。青年部会長にお話を伺いました。

青年部では毎年、駐屯地司令より防衛講話をいただき、最新の国際情勢や自衛隊の活動について知る機会となっています。講話の後には交流会も行い、相互の交流を深めています。

滝川に駐屯地があることはとても心強く、街のイベントや行事にも積極的に協力いただいています。し、隊員や家族の存在は街の活性化にもつながっています。

滝川は災害は少ないですが、日本や世界のどこかで災害が起きれば、即応機動連隊として、すぐに対応しなければなりません。このような活動に対する敬意と感謝の気持ちと、少しでも支援ができればという思いから協力会の活動を行っています。

イベント・交流活動

住民との交流、地域貢献のため、市内でのパレードや自衛隊の一般開放などを行うほか、隊区^{*}内自治体からの依頼に基づきイベント協力を行っています。



滝川市における 主なイベント協力

市内で開催される催しにも、滝川駐屯地の協力があります。

たきかわコスモスマラソンや、昨年10月に開催された北海道高等学校駅伝競走大会の際には、ランナーの先導や交通誘導、給水等のサポートをしています。

スカイパークで行われたサマースカイフェスタでは、日ごころ目にする事ができない装備品の展示やヘリコプターの飛行などを見ることができました。

近隣自治体でも雪像作成やイベント支援などの地域貢献を行っています。

駐屯地一般開放や パレードなどで地域と交流

イベント協力だけではなく、駐屯地の創立にあわせた記念行事なども開催され、今年は昭和30年の移駐から70周年の記念行事となります。

市中パレードでは、徒歩部隊による行進や装甲車等による走行が行われ、創立記念事業では駐屯地の一般開放が行われます。貴重な自衛隊史料の展示や、滝川駐屯地しづき太鼓の演奏、模擬店などを楽しむことができます。

このほかにも、駐屯地盆踊りやクリスマスコンサートなど、地域住民との交流を行っています。

自衛隊のこと、 もっと知りたい!

自衛官として、そして市民として滝川で暮らす若い世代にとって、滝川の印象はどのようなものなのでしょうか。

滝川での生活や、自衛隊の魅力など伺いました。滝川駐屯地のPRキャラクター「ジン少尉」も登場です。

星 啓太さん (21歳)



出身は東京ですが、独り立ちしたいと思い、北海道での勤務を希望しました。滝川が初めての赴任地で、食べ物もおいしく住みやすい街ですが、雪の多さと寒さに驚いています。会計隊となり、隊員の要望に応えられるよう、日々勉強をし、充実した日々を送っています。休日はラーメン屋巡りなどを行っています。新空知大橋から見る滝川の夕焼けがお気に入りです。

ジン少尉 (14歳)



滝川駐屯地の活性化やPRのために、創立記念行事や滝川駐屯地盆踊りなどに参加しているよ。依頼があれば、地域のイベントにも参加しているんだ。これからも元気いっぱい活動するので、みんな会いに来てね、待っているよ! みんなに元気になってもらえると、うれしいな。

小島 沙和子さん (33歳)



コロナ禍で前職を退職し、自衛官になりました。訓練は男女問わず、できないときは協力して達成するので、女性だから困るということはありません。隊内でも生活エリアは男女できちんと分かれていますし、快適に過ごさせています。休みの日には、えべおつ温泉に行ったり、パークゴルフに行ったりと、楽しんでます。

自衛隊情報、発信しています。

滝川駐屯地ではイベント情報や、国際貢献活動、直接目にする事ができない訓練の様子などを発信しています。自衛隊の活動を知ることができます。



ホームページ



Facebook



X



Instagram

あ
と
が
き

東洋一の化学コンビナートと言われた北海道人造石油株式会社滝川工場の研究棟が、今も滝川駐屯地本部隊舎として使用されていることをご存じですか。

近い存在でありながら、意外とその歴史や任務など知らない事も多いのではないのでしょうか。

記念行事での駐屯地開放のほか、予約することで施設見学も可能です。滝川駐屯地をもっと身近に感じられるかもしれません。

市中パレード

日にち 6月7日(土)
場所 ベルロード
10:40 ~ 11:00
路上音楽演奏
11:00 ~ 11:30
車両約70台、隊員約400人によるパレード

滝川駐屯地 創立 70周年

問合せ先
陸上自衛隊滝川駐屯地
TEL 22-2141

創立記念行事

日にち 6月8日(日)
場所 滝川駐屯地
9:00 ~ 15:00
駐屯地開放
記念式典、観閲行進、音楽演奏、訓練展示、装備品展示等
12:00 ~
装甲車などの体験搭乗

迫力ある演奏を日本武道館でも披露 「滝川駐屯地しづき太鼓」

太鼓の経験はありませんでしたが、入隊をきっかけに太鼓を始め、現在はリーダーを務めています。

イベントや音楽祭などにあわせた全体練習のほか、隊内の道場での自主練習などを行い、技を磨いています。

市中パレードと創立記念行事でも演奏しますので、統制のとれた構えの美しさ、パチさばきなど、自衛隊太鼓ならではの魅力をぜひ間近で感じてください。若いメンバーが多いチームなので、若さあふれる掛け声や、迫力ある音を楽しんでいただけたらと思います。



滝川駐屯地しづき太鼓リーダー
いちのへ
一戸 翔太さん (32歳)

^{*}隊区：自衛隊の各部隊が担当する区域。滝川駐屯地の駐屯部隊が管轄する区域は滝川市、赤平市、芦別市、石狩市、歌志内市、砂川市、浦臼町、上砂川町、新十津川町、当別町、奈井江町の6市5町。